

# FIU JAPAN 通信

発行所 = 松樹武志 & 桂子  
〒158 世田谷区上用賀 2-3-1-1008  
TEL 03(429)9603 (投稿、待ってます)

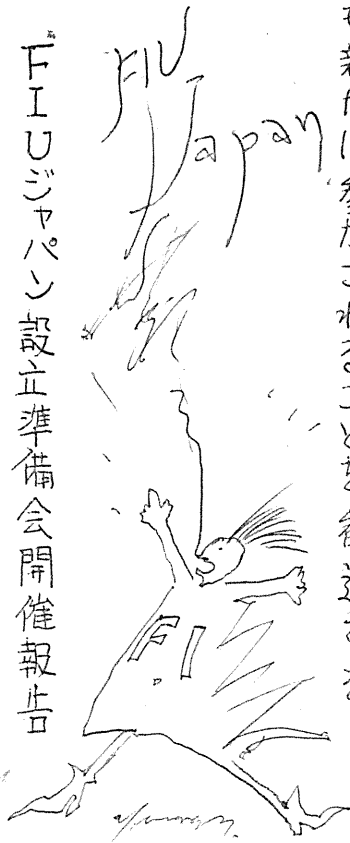
## FIUジャパンの発足にあたって

針生一郎

自由国際大学(FIU)は、ドイツの芸術家ヨルゼフ・ボイスによって創始され、いまヨーロッパ各地にひろがりつつある運動である。その第一の目的は、教育と学習を国家の占有と管理から解放すること、第二の目的は、人間本来の創造性、自己決定性、全的な自由を回復して、それらを根こそぎにしている現在の社会体制の根本的変革をめざすこと、第三の目的は、社会的分業によって細分されたあらゆる専門領域をこえることである。

したがって、大学といってもここには、キャンパスも教室も、カリキュラムも授業も、教師も学生も、入学試験も卒業資格も一切ない。所定の会費さえ払えば、だれでも参加できるし、またおもしろくなければ、いつでも脱けられる。それは現実には、一週間に一度ぐらい集まって討論するだけの組織だが、理念としては、眼にみえないバクテリアのように人びとの意識に入りこんで、やがて社会を根底からつくり変えてしまうことをめざしている。

一九八四年六月、ボイスが来日したとき、スーパースターとしての彼に対する人びとの熱狂は大きかったが、わたしたちはボイスを思想的な面からより深くとらえて、FIU・ジャパンの結成にふみだしたのである。だが、FIUには本部も支店もないから、本部や中央に金を納め、報告を送る義務も、支部に指令や割当てがくることもない。ボイスの思想とヨーロッパでのFIUの経験は、わたしたちにとって学ぶところ多いとしても、日本のFIUにはまた独自の方向、性格、スタイルがあっていい。わたしたちはいまメンバの拡大よりは少数でもその思想・信条・理念を深く鋭くとぎすますことを第一義として、また、発足したばかりなので、心ある人びとが一人でも新たに参加されることを歓迎する。



## FIUジャパン設立準備会開催報告

●第一回FIUジャパン設立準備会が開催されたのは七月三〇日(月)、午後七時より約二時間、神宮前区民会館においてのことであった。

若江漢字氏他約三十名余の出席のもと、まずは針生一郎氏による挨拶がなされ、同時に西独のFIU事務局長ヨハネス・シュトゥットゲンから返事が来て、シュトゥットゲンの手になる「自由国際大学」の出版が許可された旨、報告がなされた。その後、針生一郎氏翻訳によるシュトゥットゲン著「自由国際大学」のテキストの修正がなされ、針生氏より理念等に関する簡単な説明が加えられた。

各出席者の簡単な自己紹介の後、今後のFIUジャパンのあり方についての討議に移った。FIUそのものの「実体」がまだ出席者にも良く呑み込めていない状況ということもあって、活発な意見交換にまで至らぬために、若江氏より、テキストを使って理解を深めるために、夏休み期間中に集中セミナーをやる、という提案が出され、さっそく八月十二日と二十六日の二日間、半日がかりで試みることに決定。

次に、本田雅和氏より、FIUジャパンの集まりに当りて出席できるわけでもないのに、報告ということでは、FIUジャパン通信を発行して欲しいという提案がなされた。具体的には、時間の関係で次回へ持ち越された。事務所もまだ無い段階であることから、連絡所として、五氏の連絡員が決定した。

- 奥田貞之 〇四二二(八三)五七一八
- 小川信勝 〇三(三九九)一五四五三
- 林田茂留 & 四方幸子 〇三(四八五)一三〇五
- 宇谷訓光 〇四二二(三二)九七四一

●第二回FIUジャパン設立準備会は、八月十九日(日)渋谷の大向区民会館にて行なわれた。決定事項の集中セミナーは、予定通り、針生氏宅で行なわれた。

約二十五名余の出席(第二回FIUジャパン設立準備会)があり、まずは、進行の林田茂留氏より、FIUに関する簡単な説明と、名前と職業だけの簡単な自己紹介を行なった。

前回同様、針生氏よりテキストに関する修正が報告された。

具体的な討議の内容としては、今後の活動の形態に閉じて、林田氏よりランチ・システムをとったかどうかという提案があった。

また、若江氏等からも、イベントを予定していきなさいとの提案もなされたが、針生氏からも、美術品の税制の問題、美術品の運搬料の問題等の話が述べられたにとどまり、具体的な進展は見られなかった。

前回提案されていた、FIUジャパン通信は、松樹武志氏が担当することに決まった。



## ルドルフ・シュタイナー研究会報告

ヨルゼフ・ボイスの芸術に、多大な影響を及ぼしたシュタイナーの理念(教育・医学・宗教・芸術・社会など)を大なる範囲に及ぶことを研究すべく、また、FIUの活動の一環として、この研究会は開かれていた。

林田茂留氏を中心として、二十人近いあらゆる分野の人達、月に二回(だいたい土曜日)指定された様々な場所にて、飲食を共に、午後七時頃から和気あいあいと行なっている。

進行役の林田氏のもと、テキストを参加者が読み、疑問点を皆で討論するという内容である。

テキストは参加者是非、一冊買われた方が良いと思われる。テキスト(本)

「シュタイナー入門」ルドルフ・シュタイナーの生涯と人間像」ヨハネス・ヘムレーベン・アンドレイ・バールイ著 人智学出版社 2500

又このテキストが終了し、次回のシュタイナーの本へと移っていく。何回かの研究会で、このテキストの 第一部・第二章・幼年時代と青年期から「ゲテ学者」シュタイナー、ワイマル時代の認識の闘い、自由の哲学、ベルリン、神智学から人智学へ、人智学、キリスト学、芸術としての人智学、第一次大戦と講演活動、そして第十一章、社会の三層化運動に至っている。この第十一章は、ヨルゼフ・ボイスにとって多いに影響された部分で、彼の理論の根本的なものとなっている。

十月六日(土) 共に神宮前区民会館にて七時より。03(429)4565 是非、御参加下さい。次回は 十月二十日(土)

★FIUジャパン設立委員会連絡★

九月三十日(日) 神宮前区民会館 神宮前六十一  
午後六時～九時半 TEL 〇三(四〇九)四五六五  
連絡先 前述の連絡員各氏まで (カンパ歓迎)